

事業名	モジャコ漁場調査（資源評価調査事業）
予算区分	国費
事業実施期間	令和3年度（継続実施）
担当者	安藤大輔，三好亮徳，原田純，悦田明，藤岡保史，渋江文，丸龍岬太
共同研究機関等	水産研究・教育機構，各県水試

<目的>

ブリ稚魚（通称モジャコ）を養殖用の種苗として採捕するモジャコ漁の計画的・効率的な操業に資するため，流れ藻に蟄集するモジャコの来遊状況と漁場環境の調査を資源評価調査事業の一環として実施した。

<方法>

モジャコ漁解禁前の4月20日および同月21日に，漁業調査船とくしま（鋼製80トン，1,200馬力）で，図1に示した調査コースを航走して流れ藻及び潮目を目視で探索し，調査コース上の流れ藻の分布状況を記録するとともに，比較的大きな流れ藻を網口9.5mのまき網を用いて採取した。採取した流れ藻は船上で重量を測定した後，付着しているモジャコ等の稚魚を分別した。採捕した稚魚は魚種を査定して個体数を計数し，モジャコは尾又長と体重を測定した。また，航走中は古野電気製水温計T120-Eで表層水温を連続観測した。なお，今年度は悪天候によりモジャコ漁解禁後の調査は実施できなかった。

<結果>

流れ藻採取およびモジャコ採捕結果を表1，図1，2に示す。結果は，本県沿岸に来遊するモジャコの体長組成は40mm前後と100mmを超えるグループに分かれており，モジャ

コの加入時期が2分されていることを示している。

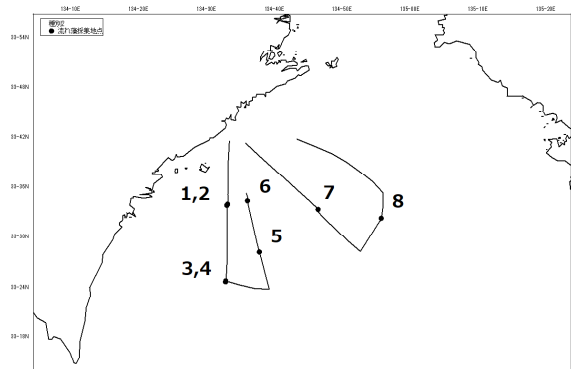


図1 調査コースと流れ藻の採取地点

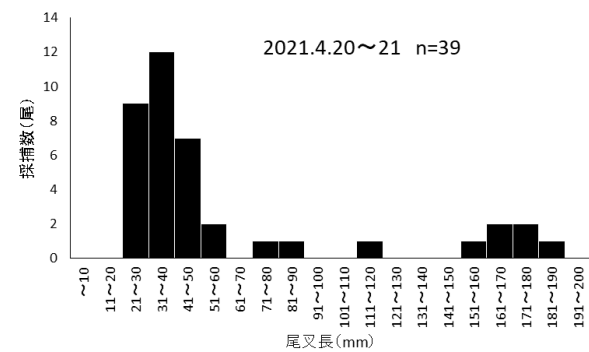


図2 採捕したモジャコの体長組成

表1 流れ藻採取およびモジャコ採捕結果

採集日	採取地点	採取位置		表層水温 (°C)	採取した流れ藻		モジャコ採捕数	モジャコ尾又長 (mm)			
		北緯	東経		直径 (m)	湿重量 (kg)		最小~最大	平均		
4/20	1	33°	33.893'	134°	32.940'	19.0	1.0	2.6	8	32~57	43.1
	2	33°	33.750'	134°	32.814'	19.2	1.5	4.0	3	30~83	57.7
	3	33°	24.601'	134°	32.633'	18.5	1.0	4.5	4	28~48	36.8
	4	33°	24.705'	134°	32.673'	18.6	1.4	4.2	3	37~78	51.0
	5	33°	28.107'	134°	37.610'	19.3	1.8	5.5	2	120~154	137.0
	6	33°	34.299'	134°	35.860'	19.5	2.0	18.0	14	23~49	31.1
4/21	7	33°	33.254'	134°	46.248'	18.5	1.0	49.0	4	168~188	174.5
	8	33°	32.204'	134°	55.614'	18.1	4.0	8.5	1	173~173	173.0